



2023年4月11日

各位

会社名 明治ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 川村 和夫
(コード:2269 東証プライム)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 田中 正司
(TEL:03-3273-3917)

新型コロナウイルス感染症に対する次世代 mRNA ワクチン「ARCT-154」 日本での供給・販売に関する提携契約締結に関するお知らせ

明治ホールディングス株式会社は、当社の事業子会社である Meiji Seika ファルマ株式会社が 2023 年 4 月 11 日、Arcturus Therapeutics Inc.^{※1} が創製した新型コロナウイルス感染症に対する次世代 mRNA ワクチン「ARCT-154」(開発コード)について、同ワクチンの全世界における権利を保有する CSL Limited の子会社である CSL Seqirus^{※2}と日本での供給・販売提携に関する契約を締結しましたのでお知らせいたします。

同契約に基づき Meiji Seika ファルマは、日本国内における ARCT-154 の製造販売承認取得、流通および販売を担当します。Meiji Seika ファルマは、CSL Seqirus から同ワクチンの国内開発および承認申請に必要なデータの提供を受け、調印時一時金等の対価を支払います。

「ARCT-154」は、オミクロン株等の変異株に対しても有効性が期待され、少ない接種量でワクチンの効果が長く持続することが期待されます。2022 年 12 月 13 日より Meiji Seika ファルマが日本国内での追加免疫 第 III 相臨床試験を実施中です。

日本国内における「ARCT-154」の製造については、株式会社 ARCALIS^{※3}と連携し、同社が建設中の製造施設(福島県南相馬市)で原薬から製剤まで一貫して製造できる体制の構築を進めています。

Meiji Seika ファルマは、次世代 mRNA ワクチンである「ARCT-154」を早期に供給できるように取り組み、新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの新たな選択肢を提供していきます。

なお、本件が 2024 年 3 月期の連結業績予想に与える影響は現時点では未定です。今後、状況に応じて精査し、影響を認識した時点で速やかに開示いたします。

※1:2013 年に設立された、米国を拠点とする製薬企業。後期臨床ステージの感染症用ワクチンをはじめ、肝臓や呼吸器の希少疾患に有効な mRNA 医薬品の研究開発を行っている。(https://arcturusrx.com/)

※2:CSL Limited の子会社で、世界最大級のインフルエンザワクチンの供給企業。米国、英国、オーストラリアに最先端の製造施設を持ち、優れた研究開発能力を有する。(https://www.csllseqirus.com/)

※3: 世界水準の医薬品創出ヘルスケアプラットフォーム企業群を傘下に有するアクセリード株式会社と Arcturus Therapeutics Inc.の合弁企業。mRNA 医薬品・ワクチンの創薬支援、受託開発製造事業(CDMO 事業)を展開している。(https://corp.arcalis.co.jp/)

以 上